

高リシントウモロコシ LY038 系統及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ  
MON810 系統の概要

項目	概要	
品 種	高リシントウモロコシ LY038 系統	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON 810 系統
申請者	日本モンサント株式会社	
開発者	Renessen LLC. (米国)	Monsanto Company (米国)
製品の概要	トウモロコシに <i>Corynebacterium glutamicum</i> 由来の <i>cordapA</i> 遺伝子を導入することにより、リシン生合成に関与するジヒドロジピコリン酸合成酵素 (dihydrodipicolinate synthase) である cDHDPS タンパク質が主にトウモロコシ穀粒中で発現し、トウモロコシのリシン含量が高まる。	トウモロコシに <i>Bt(cry1Ab)</i> 遺伝子を導入することにより <i>Bt(Cry1Ab)</i> タンパク質が発現し、アワノメイガ等のチョウ目害虫に抵抗性をもつ。
宿 主	デント種のトウモロコシ ( <i>Zea mays</i> L.)	デント種のトウモロコシ ( <i>Zea mays</i> L.)
挿入遺伝子 (供与体)	<i>cordapA</i> 遺伝子 ( <i>Corynebacterium glutamicum</i> 由来)	<i>Bt(cry1Ab)</i> 遺伝子 ( <i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kurstaki</i> 由来)
選択マーカ ー (供与体)	カナマイシン耐性遺伝子 <i>nptII</i> ( <i>Escherichia coli</i> トランスポゾン Tn5 由来) (組換え体の育成過程において耐性遺伝子は除去されている)	—
新たに獲得された性質	リシン高産生性	チョウ目害虫 (アワノメイガ等) 抵抗性
安全性審査 を経た旨の公表 (官報告示日)	平成19年4月12日予定	平成13年3月30日